

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会第3回定例会
開催日時	平成16年6月23日（水曜日） 18時31分から20時19分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	<p>会長：下栗庸隆          副会長：西谷征一          委員：細井邦夫、濱崎昌子、水野教雄、内山由之、武田雅子、関谷大博、米村博子、米澤千鶴、富澤佳代子、野崎佳宏、竹内敏子、北岡和彦、遠山久敬          職員：島崎館長、近藤事業係長、小倉分館長、長谷部分館長、玉木分館長、古瀧分館長、上野分館長、藤森公民館主事、村上公民館主事</p>
欠席者	委員：木村俊二、仲川準、矢口正孝
議題	<p>第2回会議録について          報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業計画・報告書について</li> <li>2. 都公連委員部会について</li> <li>3. 関ブロ大会について</li> <li>4. 住吉公民館移転計画説明会について</li> <li>5. 新しい公民館・図書館のあり方策定委員会設置要綱について</li> <li>6. 公民館だより編集委員会報告</li> </ol> <p>(3) 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講師派遣事業のあり方について</li> <li>(4) 次回の日程について</li> </ol>
会議資料の名称	<p>事業計画書5件、報告書1件          西東京市新しい公民館・図書館のあり方策定委員会設置要綱          講師派遣事業、15年度事業実績</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 公民館運営審議会第2回会議録について          ※特に問題なし</p> <p>(2) 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業計画書・報告書について</li> </ol> <p>○委員：          申込方法、PR方法を記載していない計画もあり、統一してほしい。</p>	

○職員：

報告書の書式については田無地区館と保谷地区館で全く違ったものを使っていた。今日提出したのは、保谷地区館側で使用していたものであり、統一したものを作る上で意見を聞きたい。

○委員：

形式の違いで違和感はない。

○委員：

目的は計画を見ればわかるので必要ない。参加者のコメントやアンケート調査の結果を示してほしい。

○委員：

館としての反省なのか、実施者個人の反省なのかを統一すべきである。誰が評価をしたのかは記載する必要がある。目的を書くのであれば、端的にかけば良い。

○委員：

備考欄に反省点を記入しているのはおかしいと思う。

## 2. 都公連委員部会について

○会長：

6月12日に東大和市庁舎において委員部会全体会を行った。関ブロ大会の準備状況報告を受けた後、協議事項に移り、今年は年2回の委員部会研修会を開催することを決定した。詳細は、運営委員会を立ち上げたので、その中で決定していく。

## 3. 関ブロ大会について

○職員：

大会の申込が始まっている。通知文にも示したとおり、本日中に出欠の態度と希望の分科会を明らかにしてほしい。全体会後の懇親会への出席状況が芳しくないのではないかと危惧されている。

西東京の実行委員会が28日に予定されている。応募状況は、保谷公民館利用の市民が1人と芝久保・田無の公民館利用者連絡会の方々が手伝いを申し出ている。これに、公運審の有志と関係職員を加えて分科会の運営をしたい。

## 4. 住吉公民館移転計画説明会について

○館長：

前回の説明会で受けた市民意見に対して、一定の回答をするよう意見調整をしている。

1つ目として、改築される福社会館の中に、地域開放型の集会室を設置するよう生涯学習部として要望し、その方向でまとまりつつある。2つ目として、住吉の特徴的機能である調理室については、隣接の消費者センターに同規模で新しいものがある。地域の人たちが有効利用できるよう、関係部署に申し入れをしている。

次回は、7月18日に下保谷図書館は24日に説明会を開催する。

5. 新しい公民館・図書館のあり方策定委員会設置について

○館長：

9月から半年の間に、策定委員会を設置し、検討事項に掲げる内容について審議をすることになる。公募の市民委員については、7月1日号の市報、公民館だよりで募集する。公運審のメンバーからは、1人を来月の会議で協議して決めたい。

○委員：

この会議は、住吉の移転の問題を協議するためのものか、全体のものなのか。

○職員：

住吉の移転は偶然時期が重なっただけで、もちろん公民館全体のことを討議する場になる。

○委員：

保谷駅ビルに移設する公民館の設計を検討するための会議は、別に意見を聞く会などを設けるのか。

○職員：

その予定だ。ただし、総論としては、駅ビルに建設される公民館のあり方については触れられるのではないかと思う。

○委員：

関係団体の2人以内とは少なく感じる。図書館・公民館それぞれ1人か。

○職員：

その予定だ。

○委員：

第2の3項のその他必要な事項は、予定される事項があるのか。また、誰がその必要性を判断するのか。

○職員：

現在は予定していないが、不測な事態を想定してこうした条文には良く用いられる手法である。必要性は、会議参加者が判断すべきと思う。

○委員：

関係団体から選ばれる委員だが、委員の選び方にしろ、団体の選択にしろ、どのような選び方をしたのかということ問われる場面が生じると思う。そのときに明確な回答ができるようにしてほしい。

○委員：

どの部門の人数も少なく感じる、10人の委員数は決定か。

○職員：

既に施行されている要綱である。

#### 6. 公民館だより編集委員会報告

○委員：

5月10日に、谷戸と保谷公民館で活躍しているボランティア団体について取材をした。外国人の方々に日本語を教えるために活動する人々であり、外国人も熱心だし、その姿を見ていて感動した。自分も活動に参加したくなってしまふほどであった。6月16日の取材にも同行したが、取材の回数が増えると現在の2人ではかなり厳しい状況になる。せめてもう1人は増やしてほしい。

#### (3) 協議事項

##### 1. 講師派遣事業のあり方について

○会長：

今月を含めて1、2ヶ月は、資料を確認しながら現状を勉強する必要があると思う。  
(主な意見の集約)

○委員：

主催事業として実施するのであれば、申請書だけに頼るのでなく、本人に説明をさせて職員と話し合う必要があるのではないか。申請書を文章にして提出するのは、市民には難しい。現行制度はグループ内の意見をまとめて提出する必要があり、個人としての要望を出すことはできないのかと思う。

市民が新たにサークルを作るための援助もしてほしい。リタイヤした市民が、地域にグループがないために活動に参加できないこともあると思う。

○委員：

同じ団体が繰り返し利用していることなどは、既得権にならぬよう考慮の必要があると思う。参加者のうち会員に対して一般の方が多い場合は、目的を達しているともみていいのだと思う。名称を変更して、自分たちの会員のために行う講演会ではないということが明確になればいいと思う。

申請の方法については、簡略にできないかと思う。申請の段階で挫折してしまうところがあるのではないかと心配している。

○委員：

事業を行った後の結果がどうなっているのかを確認した方が良いと思っている。事業を行うことは大切だが、事後の検証はもっと大切だと思う。無作為抽出でも調査する必要があると思う。人数だけで評価していいのか疑問だ。

○委員：

開催日時によっては、公民館だよりと市報の掲載に手間取ることがある。必ず公民館だよりに掲載することというルールを弾力的にしてもいいのではないかと思う。

○会長：

来月以降も調査・研究の上、方向性について議論を進めたい。

(4) 次回の日程について

※7月28日（水曜日） 18時30分

田無公民館に於いて